

全国月間火山概況

口永良部島では、30 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

また、27 日に秋田駒ヶ岳に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。

その他の火山で予報警報事項に変更はありませんでした。

11 月 9 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 11 月 9 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3 （入山規制）	桜島
	レベル 2 （火口周辺規制）	浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若草、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第 3 版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

樽前山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

16日14時24分頃及び23日02時07分頃に振幅の小さな火山性微動が発生しました(火山性微動の発生は、2009年9月25日以来)。これらの火山性微動発生に伴い、傾斜計(C点：山頂ドームの北約1.5km)にわずかな傾斜変化(山上がり)が観測されましたが、噴煙の状況に特段の変化は認められませんでした。

21日～22日、24日に実施した現地調査では、A火口の最高温度は約630℃(前回2009年9月：約640℃)、B噴気孔群の最高温度は約320℃(前回2009年6月：約320℃)で高温の状態が継続していた他、A火口周辺では、地熱域の拡大が認められました。30日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、山頂溶岩ドーム及びドーム周辺の火口や地熱域の状況に変化は認められませんでした。

全磁力観測では、地下の温度上昇を示す変化は認められませんでした。

21～24日にかけて実施したGPS繰り返し観測では、山頂火口原内の溶岩ドームの地下浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が2006年以降引き続き観測されました。

地震活動や噴煙活動は低調な状態ですが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

秋田駒ヶ岳 [(噴火警戒レベル1、平常)] 27日に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表

21～23日にかけて現地調査を実施しました。赤外熱映像装置による地表面温度分布観測では、8月28日に確認された女岳北東斜面の新しい噴気地熱域において、斜面下方側に地温の高い領域が認められました。以前から定常的に地熱の高まりがみられている女岳山頂北部の噴気地熱地帯では、地表面温度分布及び噴気の状態や地中温度に特段の変化は認められませんでした。

21～23日にかけて実施したGPS繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

火山性地震は少ない状態で推移しています。

秋田駒ヶ岳では、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

山頂火口からの噴煙量は 4 月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移しました。

15 日、19 日、22 日および 29 日に実施した現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は一日あたり 300～1,000 トンと、2 月の噴火以降減少していますが、2008 年 7 月以前の状態と比べて多い状態が続いています。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いています。

山体周辺の GPS 連続観測では、昨年 7 月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、今年 7 月頃から鈍化しています。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

三宅島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移しました。

13 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり 800～1,800 トンで、前期間（2008 年 8 月、一日あたり 1,400～2,200 トン）と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓で時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）】

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。また、国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降みられている島全体の隆起を示す地殻変動は、現在は停滞しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、観測は行われませんでしたが、これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

阿蘇山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

阿蘇山では、11 月 2 日から火山性微動の振幅が一時的に大きい状態となり、その後次第に小さくなりましたが、振幅増大前と比べてやや大きい状態が続いています。

孤立型微動は多い状態で推移しました。

夜間に行った現地調査で、南側火口壁の噴気孔において火炎現象および赤熱現象を観測しました。いずれも火口内で発生した局所的な活動と考えられます。

二酸化硫黄の放出量は一日あたり 500 トンで前期間（2009 年 9 月、一日あたり 400 トン）と同様、少ない状態で経過しました。

中岳第一火口の湯だまりの量及び表面温度は前期間（2009 年 9 月）と比べて大きな変化はありませんでした。

地磁気観測では、2006 年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみら

れていました。2009 年 1 月～8 月にかけてはその変化が鈍化し、10 月頃から再び全磁力の増加が認められることから、火山体内部の温度上昇を示唆している可能性があります。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出の可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

桜島【火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)】

昭和火口では、6 月下旬から噴火活動のやや高まった状態が続いており、10 月は噴火が 125 回発生しました。そのうち爆発的噴火は 101 回発生し、大きな噴石が 4 合目まで達しました。また、同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映が、時々観測されました。

南岳山頂火口では、3 日に噴煙高度が火口縁上 3,000m の爆発的噴火が発生し、大きな噴石が 4 合目まで達しました。3 日と 4 日に実施した電話による聞き取り調査及び、気象庁機動調査班 (JMA-MOT) が行った降灰調査では、火口の北東から南東に位置する宮崎県宮崎市や鹿児島県鹿屋市などの広い範囲で降灰を確認しました。

8 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり 3,100 トンと多い状態でしたが、13 日、19 日及び 30 日の観測では一日あたり 1,400 トン程度と減少しました。

9 日に海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て行った上空からの観測では、南岳山頂火口の A 火口底が深くなっている様子が確認されました。

GPS による地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が更に活発化する可能性があります。桜島の火山活動は次第に活発化している傾向がみられることから、今後の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は高い状態が続き、噴煙の高さは火口縁上概ね 100m で推移しました。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

口永良部島【噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)】 ←10 月 27 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から引下げ

火山性地震は 9 月 30 日以降少ない状態で経過し、火山性微動も 10 月 7 日以降観測されていません。また、GPS による地殻変動観測でも新岳火口浅部の膨張を示す変化は認められません。

これらのことから口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、30 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口から 1 km 程度の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

^{おたけ}御岳火口では爆発的な噴火を含む噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火が 8 回発生しました。

諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第 3 版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 21 年 11 月 9 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 10 月 27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜 島	火口周辺警報（レベル３、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカシタナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山